

平成 28 年度
夏期研究協議会
教務運営研究会
実 施 案 内

一般財団法人 東京私立中学高等学校協会

会 長 近 藤 彰 郎

東京私学教育研究所所長 須 藤 勉

教務運営研究会委員長 小坂部 好 史

所在地 〒102-0073 東京都千代田区九段北 4-2-25 私学会館別館 4 階

電 話 03(3263)0544 番 FAX 03(3263)0560 番

(共 催 : 公益財団法人 東 京 都 私 学 財 団)

教務運営研究会

文部科学省では教育改革についての議論が進み、各学校ではアクティブラーニング等を取り入れた新たな教育実践への試みなど、先生方は忙しい毎日をお過ごしのことと存じます。

今回の講演には、リクルート進学総研所長 小林浩様をお招きしました。高大接続システム改革会議を含めた様々な文部科学省の委員としてのご経験をもとにしたお話をうかがい、大学入試改革の背景や方向性についての見識を深めます。

実践報告は、アクティブラーニングの実践者として、東京私学で最も著名な、専修大学附属高等学校でこの3月までご活躍され、4月から産業能率大学経営学部准教授になられました皆川雅樹先生と、専修大学附属高等学校 杉山比呂之先生にお願いしました。ワークショップ型のプログラムを通じて、先生方の授業に直結するヒントがたくさん得られることと思います。

また、分科会では、例年とは違い、学校の設置形態や参加者の経歴等が偏らないようにグループ編成をして、これまでよりも多様で価値のある情報交換をしていただきたいと思います。

先生方にとりましても、先生方の学校にとりましても有意義な研修になることと存じます。ふるってご参加いただきますようご案内申し上げます。

1. 研究目標 学習指導要領と私学の教育
 - ・教育改革と新たな方法論
 - ・教務運営上の諸問題

2. 会 期 8月1日(月)・2日(火)・3日(水)の2泊3日(現地集合・現地解散)

3. 会 場 かずさアカデミアホール・オークラアカデミアパークホテル
 〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足2-3-9
 TEL : 0438-52-0111(フリーダイヤル 0120-37-7070) FAX : 0438-20-5210
<http://www.kap.co.jp/>
 (別紙ご案内図を参照ください)

4. 参加対象 教務関係教職員等

5. 募集定員 100名(参加申込みが100名を超えた時点で、締切ります。)
 参加は1校3名までとします。

6. 参加費 1名につき44,000円
 (2名1室利用。宿泊費(2泊5食)、資料印刷費)

7. 日 程 8月1日(月) 13:00受付開始 13:30開会式 (201会議室)
 8月3日(水) 11:30解散予定

時間 月 日	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	
8月1日(月)					受 付	開 会 式	資 料 説 明	講 演	休 憩	分 科 会	休 憩	夕 食
8月2日(火)	朝 食	分科会		昼 食	実践報告			休 憩	分科会		休 憩	夕 食
8月3日(水)	朝 食	分科会		閉 会 式								

8. 研究内容

①講演

演題 「高大接続改革の狙いと方向性～大学・高校はどう変わるのか～」

講師 小林 浩 株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
リクルート進学総研 所長
リクルート「カレッジマネジメント」編集長

《プロフィール》

リクルートで「ケイコとマナブ」企画業務、大学・専門学校の学生募集広報などを担当。経済同友会に出向し、教育政策提言の策定にかかわる。その後、経営企画室、会長秘書、進学カンパニー・ソリューション推進室長などを経て2007年より現職。文部科学省中央教育審議会高大接続特別部会臨時委員（2012年～2014年）、文部科学省高大接続システム改革会議委員（2015年～2016年）、文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会専門委員（2016年～）等を歴任。

②実践報告

演題 「アクティブラーニング」とは何だろう？～高校日本史授業実践を通じて～

講師 産業能率大学経営学部准教授 皆川 雅 樹 先生
専修大学附属高等学校 杉山 比呂之 先生

《皆川先生プロフィール》1978年生まれ。産業能率大学経営学部准教授。一般社団法人ISP理事。専修大学大学院文学研究科博士後期課程修了・博士（歴史学）。法政大学第二高校特別教諭・専修大学附属高校教諭を経て今年度より現職。2010年より日本史のAL型授業や校内外でファシリテーション・KP法などの教育に取り組み、河合塾『Guideline』（2014.4・5）・リクルート『Career Guidance』（2015.7）・日本環境教育フォーラム『地球のこども』（2015.8・9）・小林昭文他編『アクティブラーニング実践』（産能大出版部、2015）・『総合教育技術』（小学館、2016.4）などで授業実践が紹介され、全国で講演・研修講師も務めている。著書『日本古代王権と唐物交易』（吉川弘文館）など。

《杉山先生プロフィール》1982年生まれ。横浜国立大学大学院教育学研究科社会系教育専攻修了。私立女子中高の講師を経て専修大学附属高等学校に勤務。“場を創り、場に価値を”をモットーに日本史のAL型授業を実践するかたわら、ソーシャルスキル、チームビルディングなどの育成をテーマとした選択授業「チーム作り講座」・「チーム・組織を考える」を担当。また、杉並区と連携をして「ハイパー高校生マネジメントプロジェクト」、授業研究を主眼とした「次世代高校教育授業研究会」、異業種の方との学びの場「より道 agola!」を立ち上げ、学校を拠点としてコミュニティづくりを実践中。

（公式HP：<http://www.s-teamdesign.org/>）

【実践報告のプログラム（予定）】

- ①講師紹介&趣旨説明 ②アイスブレイク（参加者と講師の壁を壊す）
- ③ふたりが考えるAL講座（レクチャー要素が強いです）
- ④化学反応Ⅰ：参加者同士の情報交換&交流タイム
- ⑤休憩 ⑥授業実践についてのレクチャー
- ⑦授業体験型ワーク ⑧化学反応Ⅱ：ワールドカフェ型情報共有タイム
- ⑨化学反応Ⅲ：質問づくり（質疑応答） ⑩振り返り

③資料説明

平成28年度「教務運営に関するアンケート集計結果」について
共立女子中学高等学校 戸谷 述夫

④分科会

- ・分科会分けは、例年、学校の設置形態でご希望を伺っておりましたが、今年度は参加回数、教職経験年数、学校種別、教科、性別等を加味し、各分科会のバランスがよくなるように分けさせていただきますので、研究会にご一任ください。
- ・各分科会の定員は20名程度で編成します。

9. その他

- ・宿泊の部屋は禁煙の2名1室利用になります。参加者同士の交流の為、部屋割りは、同じ学校の方同士が重ならないようにさせていただきます。喫煙する場合は喫煙コーナーをご利用ください。
- ・会場は冷房が強い場合がありますので、上着等で調整してください。

10. 委員（順不同）

委員長	小坂部 好 史（日本大学第二）	
副委員長	網 干 守（成 城 学 園）	
	戸 谷 述 夫（共 立 女 子）	伊 東 利 博（跡 見 学 園）
	内 山 誠 至（か え つ 有 明）	尾 崎 威 史（朋 優 学 院）
	秀 島 尉 浩（佼 成 学 園）	太 齋 潔（専 修 大 学 附 属）

11. 記 録 者

	松 川 崇 雄（共 立 女 子）	高 梨 裕 樹（共 立 女 子）
	石 井 英 和（跡 見 学 園）	立 川 秀 規（か え つ 有 明）
	秋 葉 崇（朋 優 学 院）	青 柳 圭 子（成 城 学 園）
	長谷川 剛（佼 成 学 園）	